

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 火曜1限	教室名	普通教室
担当教員	徳吉 淳一	実務経験と その関連資格	薬剤師として、薬局経営の業務に従事している。			
《授業科目における学習内容》						
薬の薬理作用を中心に教授する。その薬理作用から、どんな病気・症状に対して使用するのか？考えられる副作用は何か？相互作用は何か？をいっしょに考えていきましょう。						
《成績評価の方法と基準》						
・ 筆記試験(100%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・ 薬がみえる Vol.1 [第1版] (メディックメディア) ・ 薬がみえる Vol.2 [第1版] (メディックメディア)						
《授業外における学習方法》						
・ 授業範囲の教科書通読による予習や授業で行った範囲の復習を中心に行う。						
《履修に当たっての留意点》						
・ 講義内容を復習することで理解を深め、次回の学習内容が理解しやすいように事前学習をしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】シラバスを読む(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	授業の進め方、評価方法について。薬理学の基礎の解説。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	自律神経系に作用する薬について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	局所麻酔薬、筋弛緩薬、体性神経系・筋の疾患の総論を学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	全身麻酔薬、鎮痛薬について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	多発性硬化症、脳血管障害、脳こうそく、脳出血、片頭痛の治療薬について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	精神疾患治療薬について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系疾患治療薬についての総論と心不全、不整脈の薬について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	虚血性心疾患、高血圧、その他の循環器疾患治療薬について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	利尿薬について、糸球体疾患、腎不全、尿路結石、膀胱疾患、前立腺肥大の治療薬について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、痛風の治療薬について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	骨粗しょう症の治療薬について、甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモンについて学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	婦人科系疾患治療薬と血液系疾患治療薬を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	抗アレルギー剤、関節リウマチの治療薬について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	緑内障、白内障、耳の疾患の治療薬について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の薬理作用を理解し、その薬理作用から適応症、副作用や相互作用を想像できる能力を身につける。	教科書	【事前学習】本授業の教科書通読(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	てんかん、パーキンソン病、認知症の治療薬について学ぶ。		